

別紙

1 件名

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」第1回評価・検証委員会
【てん末】

2 日時

令和5年10月23日（月）13時30分～14時10分

3 場所

滝沢市役所 2階 大会議室

4 出席者

滝沢ふるさと交流館	事業課長	佐藤	樹理
〃	事業課	高倉	海帆
株式会社スタディア		大森	竜也
児童福祉課	課長	藤島	紀子
〃	主任	高野	愛代
生涯学習スポーツ課	課長	高橋	克周
〃	主事	村田	涼馬
〃	社会教育指導員	安倍	哲矢
〃	主事	西舘	陽真

5 内容

(1) 開会

(2) あいさつ 生涯学習スポーツ課長

(3) 説明

ア 委員会の開催目的について

交付要綱より活動目標の共有及び事業内容の検証・評価を行うことを目的として委員会を開催する旨説明。

イ 国庫委託事業の活動内容等の共有

文部科学省資料を基に、関係者で共有しておきたい点について説明した。特に本事業は幅広い地域の方々の十分な参画を得たうえで、事業実施するよう説明した。詳細については、各自確認することとした。

(4) 協議

ア 活動目標の確認と評価方法について

補助金申請時の事業目的について確認を行い、目的達成のための成果指標として行うアンケートの実施について協議した。

今年度から、補助対象要件に「重点的に取り組む課題に応じた目標」を設定し、

事業実施後評価・検証を行い、「検証結果」及び「評価検証の基礎データ」を国に提出することとなり、より地域等の要望に沿った事業展開が望まれる。

イ 事業実施状況の共有、情報交換

各教室の活動状況を共有するとともに、情報交換等を行った。

【チャグホ塾】

- ・参加児童 72名(1年生～3年生対象)
- ・今年度は、新規活動として着付け教室、運動あそび、まんまるたいを行った。
 - ア 着付け教室では、着物の着付けや作法の体験学習を実施。
 - イ 運動あそびでは、姥屋敷放課後子ども教室と交流会を実施し、マット運動等を実施。
 - ウ まんまるたいでは、丸い食べ物を作り、食育と併せた体験学習を実施。

【姥屋敷地域】

- ・参加児童 11名(2年生～4年生対象)
- ・前期は、4つの体験活動を実施した。
 - ア 養殖場で岩魚を釣る体験学習
 - イ サイエンス(実験教室)
 - ウ スイカの収穫体験
 - エ 食育体験

ウ 今後の事業展開等について

国の動向を注視しつつ、今後も「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」を活用し、事業実施していきたいと考える。

また、受益者負担の考え方についても引続き検討していきたいと考える。

【参考】チャグホ塾 年間(保険料込) 550円 料理コース等は材料費負担
姥屋敷地域 月(保育料等) 6,000円

(5) 総評

この事業が、安心・安全に過ごせる居場所づくりと多様な体験活動を目的として、子供たちのために、いろいろな活動を工夫して取り組まれていることが素晴らしい。

特にも、多様な体験活動にかかわっては、実体験と人との交流が大切だと考える。その意味からも、新たな活動を創造しながら、両方の放課後子供教室の交流も取り入れていることを今後も続けて行ってほしい。

地域学校協働活動は、地域と学校が総がかりで子供たちの育成を図っていくことが重要である。滝沢の子供たちの育成を学校・地域・行政等と相互に情報共有しながら、事業を進めて行ってほしい。また、喫緊の課題として、学校であるような、「特別な支援」が必要な児童の対応に迫られてきている時代である。指導者も支援について学びながら、学校等との情報交換を密にし、みんなで子供たちの育成に関わってほしい。